

安全性データシート

改定日: 2022年7月21日

前作成日: 2017年3月15日

SDS番号: 207B-23

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

製品名: 274 インダストリアル・デグリーサー (バルク)

物質名: 水素化精製軽質石油留分

CAS番号: 64742-47-8

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

石油ベースの洗浄剤。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

引火性液体、区分 4, H227

吸引性呼吸器有害性、区分 1, H304

皮膚の炎症、区分 2, H315

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)、区分 3, H336

水生環境有害性、慢性、区分 3, H412

2.1.2. 追加情報

H (危険) ステートメントの全文: セクション 2.2 および 16 を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語:

危険

危険有害性情報：	H227	引火性液体。
	H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
	H315	皮膚刺激。
	H336	眠気やめまいのおそれ。
	H412	長期的影響により水生生物に有害。
使用上の注意：	P210	火および高温のものから遠ざけること。禁煙。
	P233	容器を密閉しておくこと。
	P261	蒸気/スプレーの吸入を避けること。
	P264	使用后、手を充分洗浄してください。
	P271	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
	P273	環境への放出を避けること。
	P280	保護手袋を着用すること。
	P301/310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
	P331	無理に吐かせないこと。
	P302/352	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
	P332/313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
	P304/340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P312	気分が悪い時は医師に連絡すること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	P370/378	火災の場合：消火にはCO2、化学用粉末、泡、水スプレーのいずれかを使用してください。
P403/235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。	
P405	施錠して保管すること。	
P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。	

補足情報： なし

2.3. その他の危険性

既知の影響なし

セクション 3： 組成、成分情報

3.1. 物質

危険成分 ¹	重量%	CAS番号
水素化精製軽質石油留分	100	64742-47-8

¹分類基準： * 労働安全衛生法
* 毒物および劇物取締法
* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4： 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸入：	新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。直ちに医師の診断を受けてください。
皮膚への付着：	石鹼水で皮膚を洗浄してください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
目に入った場合：	大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
呑み込んだ場合：	無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

応急手当を行う人の保護： 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。蒸気の吸入を避けること。飲まないでください。口移し人口呼吸法は手当てを行う人に危険なことがあります。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）

肺に吸込むと化学性肺炎や肺水腫を起こすことがあります。高濃縮蒸気は眠気、意識不明、頭痛、めまいなど中枢神経の異常を起こすことがあります。長い間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚に刺激を与えたり、脱脂を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5： 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤： 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡 あるいは 水スプレー

不適切消火剤： 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素

その他の危険性： 消火活動による流出液を排水口や水路に流さないでください。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6： 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。発火源に近づけないでください。禁煙。発火源が除去できなければ、水で洗い流してください。吸収性の材料（砂、おがくず、クレー等）で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7： 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意

使用時以外は容器の蓋を閉めてください。移動の際は、機器を電氣的に接地し固定してください。空気より重い蒸気は低部に溜まります。蒸気が蓄積すると、点火したときに発火や爆発を起こす可能性があります。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。蒸気/スプレーの吸入を避けること。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分

日本産業衛生学会 OEL

ACGIH TLV

	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
水素化精製軽質石油留分	N/A	N/A	179*	1200*
*付録Hに記述されたACGIH TLVs®およびBEIs®の「ある種の精製炭化水素溶剤蒸気混合物の相互算出法」に基づく。				
生物学的限界値				
構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。				
8.2. 曝露制限				
8.2.1. 設備対策				
十分換気し、蒸気濃度を許容限界以下に維持してください。				
8.2.2. 作業員の保護対策				
呼吸器系の保護：	通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください。(例：欧州規格フィルタータイプ A)。			
手袋：	耐薬品性手袋 (例：Viton*、ネオプレン、ニトリル) *DuPont 社の登録商標。			
目 / 顔の保護：	安全メガネ			
その他：	皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。			
8.2.3. 環境暴露措置				
セクション6と12を参照。				
セクション 9： 物理的及び化学的性質				
9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報				
形状	低粘性の液体	pH	適応せず	
色	透明	動粘		
臭気	かすかな臭気	水溶性	不溶性	
においの閾値	未定	分配係数：n-オクタノール/水	未定	
沸点、初留点及び沸騰範囲	192-205°C	20°Cでの蒸気圧	< 1 mm Hg	
融点・凝固点	未定	相対密度	0.8 kg/l	
揮発率%(容量比)	100%	蒸気密度(空気=1)	> 1	
引火性	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1	
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	LEL(爆発下限): 0.8; UEL(爆発上限): 6	重量比芳香物含有率 (%)	≤ 0.2%	
引火点	67°C	爆発性	未定	
方法	タリアプー工閉カップ	酸化性	未定	
自己発火温度	> 220°C	粒子特性	適応せず	
分解温度	データなし			
9.2. その他の情報				
なし				
セクション 10： 安定性及び反応性				
10.1. 反応性				
セクション10.3と10.5を参照。				
10.2. 化学的安定性				
安定				

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

通常保管・使用条件では、有害な分解生成物は生成しないはずですが。

セクション 11： 有害性情報**11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。既往性皮膚炎のある作業員が晒されると、一般に症状が悪化します。

急性毒性 -

急性毒性 -

経口： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	致死量50(LD50)、ラット	> 5000 mg/kg

経皮： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	致死量50(LD50)、うさぎ	> 2000 mg/kg

吸入： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。高濃縮蒸気は眠気、意識不明、頭痛、めまいなど中枢神経の異常を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	> 5.2 mg/l

皮膚腐食性/刺激性： 長い間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚に刺激を与えたり、脱脂を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	皮膚の炎症、うさぎ	かすかな炎症 / 中等度の刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 直接接触すると目にかすかな刺激を与えることがあります。入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	目の炎症、うさぎ	炎症なし / かすかな炎症

呼吸器または皮膚の感作： 過敏症を起こさないとされています。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	皮膚の感作、モルモット	過敏性なし

胚細胞突然変異原性： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性：	本製品は、国際がん研究機関(IARC)あるいは欧州化学機関(ECHA)の規定する発がん性物質を含有していません。
生殖毒性：	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
STOT - 単回暴露：	眠気やめまいのおそれ。
STOT - 反復暴露：	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
吸引性呼吸器有害性：	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
なし	

セクション 12: 環境影響情報**12.1. 毒性**

長期的影響により水生生物に有害。

12.2. 持続性・分解性

かなり速く生分解すると考えられています。; 空気中で急速に生分解することができます。本物質は廃水処理設備で除去する必要があります。OECD 301F, 28日: 本来生分解性。

12.3. 生物蓄積の可能性

オクタノール / 水分配係数(log Kow): 2.1-6.5.

12.4. 土壤中の移動性

液体。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。危険な成分は水中に放出されると急速に空气中に蒸発します。

12.5. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。使用済みの溶剤は焼却あるいは燃料融和するよう規定されています。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令		
15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規		
日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
その他の国内規制: 労働安全衛生法 第三種有機溶剤等 水素化精製軽質石油留分		
セクション 16: その他の情報		
略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規 (1272/2008/EC) GHS: 世界調和システム ICAO: 国際民間航空機関 IMDG: 国際海上危険物規定 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量 LOEL: 最小作用量 NOEL: 最大無作用量 N/A: 該当せず PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制 (1907/2006/EC) RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定 SDS: 安全性データシート STEL: 短時間暴露許容濃度 STOT: 特定標的臓器毒性 TLV: 暴露限界 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。		
主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE) 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報 スウェーデン化学物質庁 (KEMI) 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET) 化学分類および情報データベース (CCID)		
その他の情報: なし		
本改訂によるSDSの変更: セクション 1.3, 2.1, 2.2, 4.1, 4.2, 5.2, 8.1, 9.1, 11, 12.1, 13, 14, 15.1, 16.		
本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。		